

品川支部

令和5年3月1日発行
〒141-0022
品川区東五反田1-8-5
Tel. 3442-7075

3月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

マスク外せるかな！ 子どもおぢば帰日も復活

三月十三日からは、マスクの着用は個人判断でと言う政府のお知らせが出ました。

まだ電車の中などは着用が推奨されてはいますが着実に収束に向かっていると思われまふ。三年という月日はあんなにマスクをすることを嫌がっていた人たちが、今度は外す事に抵抗が感じられると言った話も聞こえてきます。

図らずも春の大祭で百四十年祭三年千日のスタートとなりましたが、三年というのは自分が変わる十分な時間と言う事に気づかされます。おみちでは良く、三日三夜のおさづけとか、三ヶ月の修養科とか、三という字が繋ぎとも言われますが人が変化出来る単位のようにも考えられます。この三年間でいかに成人できるか、支部の仲間も助け合い励まし合ひで楽しみに過ごして参りましょ



☆支部行事のお知らせ

- ・支部幹事会
三月九日（木）午後6時
場所 都南分教会
- ・教区ひのきしん
三月五日と十七日午前九時半〜本柱組
- ・教祖百四十年祭へ みんなでひのきしん
・神名流し
三月一日大井町駅前
終了後清掃ひのきしん
- ・在宅介護センターひのきしん
三月二十九日（水）午前九時半〜
- ・支部例会
三ツ木分教会会場
詳細は二ページ掲載

☆教務支庁からのお知らせ

- ・教務支庁記念祭 四月四日
四月四日の教務支庁記念祭は、四年ぶりに制限を設けず実施される事になりました。昼食等の都合がありますので、参加出来る方は事前にお近くの教会に人数をお知らせ下さい

・少年会から

コロナ禍で規模を大幅に縮小して行われていました「夏の子どもおぢば帰り」が今年は七月二十七日からコロナ前に近い形で行われます。今まで力強いサポーターの教校生徒無しで行われますので、皆さんのご支援宜しくお願いします

・婦人会から

昨年の日徳実の会長さんに続き元の支部青年会委員長の浅田先生がご結婚され、品川支部の婦人も仲間が増えました。婦人会では、コロナで中止された横浜中華街での昼食を伴う、研究会を近々に再企画するなど、楽しく百四十年祭を迎えられますよう活動して参ります

・学生担当委員会から

立教百八十六年春のおぢばがえり
三月二十六日から二十九日まで

・社友会から

「すきっと」の発行は、年二回から九月に年一回の発行となります。各教会には一冊、支部から無償にて配布となります。二冊以上の分につきましては実費となります

時報手配り三月予定

コロナウイルスの猛威も大部収まつて参りましたが、まだ十分に健康に留意してひのきしんお願い致します

拠点教会	1日号	8日号	22号 15日号休刊	29日号
日本橋	直送	手配り	手配り	手配り
本柱	手配り	手配り	手配り	手配り
南泰	直送	手配り	手配り	直送
三ツ木	直送	手配り	手配り	直送
水豊田	直送	手配り	手配り	手配り

品川支部例会

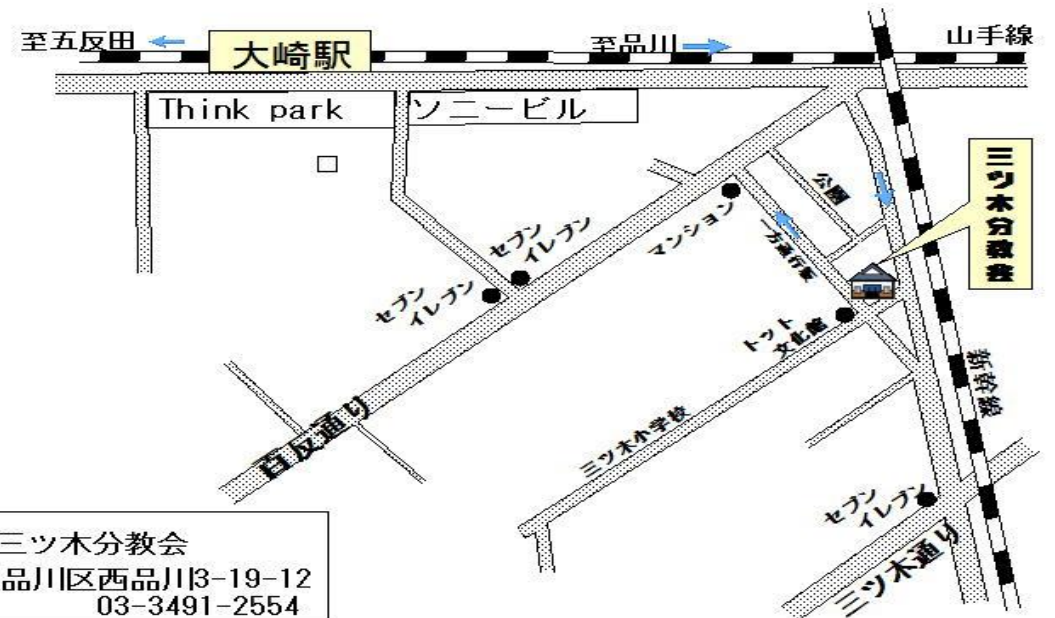
令和5年3月30日 (木)

場所 三ツ木分教会

(品川区西品川 3-19-12)

内容 座りづとめ よろづよ八首 二下目 東京教区、支部連絡事項 当該山中教会長挨拶 昼食の用意頂いてます

* 各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)



三ツ木分教会
品川区西品川3-19-12
03-3491-2554

丸い心で



新年を迎えて早二カ月が過ぎ、教祖百四十年祭の三年千日の年祭活動も始まってひと月が経ちましたが、どのようにお過ごしでしょうか。

年頭に心定めた事、またこの年祭をどのように通って行くかそれぞれあると思いますが、私は自己採点で五十点です。ついつい先延ばしで、ギリギリにならないとやらない性分で、毎日やると心定めた事は、なんとかやっておりますが、それ以外の事は、恥ずかしながら疑問のあるところではあります。

私も蒲生大教会では、昨年、若く新しい大教会長様が就任しました。就任前より「丸い心で繋がる大教会を目指す」と仰られていて、蒲生のこの年祭活動方針も「丸い心で繋がり、心澄み切る成程の人に」となっております。

そして、具体的に

「丸い心十二カ条」として、

- 一、自分のものは何もない
かりものにありがたうを
- 二、相手に弱さをさらけ出
そう
- 三、絶対大丈夫
安心が第一
- 四、初対面で
温かい一言を
- 五、まず、人の話を聴こう
- 六、シンプルに、良い事を
- 七、陰口は言わないでおこう
むしろ陰で褒める人に
- 八、人ごとを、我がことに
- 九、伝えるから、伝わるへ
- 十、目の前の人より、低く
- 十一、良い所を見よう
人には三つ長所がある
- 十二、定めたら、治まる

と、毎月全教会が、同じ目標で活動しております。このひとつひとつの日々の実働を積み重ね、それぞれの教会、家族、職場で問いと対話を繰り返して、困っている人と繋がり、たすけあいを生んでいく事を目指しています。

なかなか簡単なようで、いざ実行となると、ついつい忘れがちになってしまうのですが、その月の目標を、朝夕確認して、少しでも心を澄まし、角を取り、最初は小さな丸になり、少しずつ大きな丸となるように努めております。

また、少しでも成程の人、誠の人に近づけるよう、当教会の目標として、プラス1の行いを掲げております。教祖が、「もう少し、もう少しと、働いた上に働くのは、欲ではなく、真実の働きやで」と仰られてたように、決められた事や他の人より、もう少しとプラス1の真実の働きをしようという事です。

ここで難しいのは、プラス一はもちろんですが、ちゃんと働いた上にという事です。

ただ数をこなすのではなく、真実を重ねるべく事を努めていきたいと思っております。

この旬に毎日の心遣いを見つめ直し、相手を変えるのではなく、まずは自らが成程の人になるんだという強い気持ちで日々通らせていただきたいと思っております。

兎にも角にも、有言実行あるのみです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

三ツ木分教会会長
山中清明

